

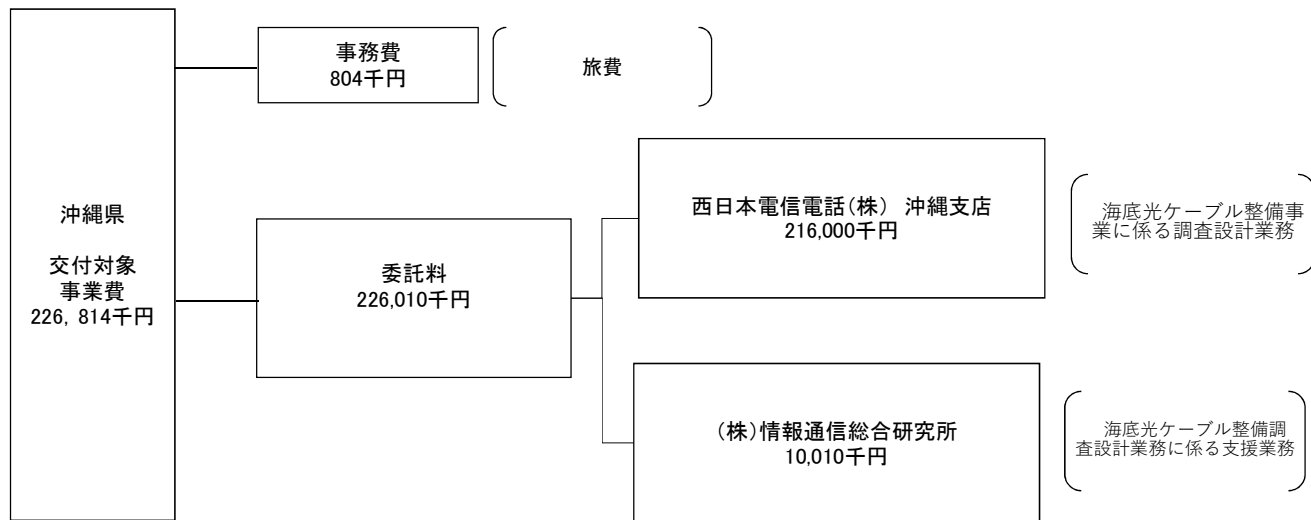
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	14	大東地区情報通信基盤整備推進事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(12)-ア-①		
担当部署名	企画部情報基盤整備課	事業実施 (予定)年度	H31 ~ R7 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	未来創造の情報通信基盤の構築 III-6		
事業内容	大東地区において、高度な情報通信技術の利活用環境の形成(2ルート化)を図るため、南大東島と北大東島を結ぶ高速大容量の中継伝送路(海底光ケーブル)を整備する。(総延長 約18km) 令和4年度は、海底光ケーブル整備工事にに向けた調査・設計業務を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	1,946,608	0	2,584,091	0	227,015
		(b)予算現額	1,938,986	0	2,584,091	0	227,015
		(c)増減額(b-a)	▲ 7,622	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0	660,000	0	0	0
		A. 計(b+d)	1,938,986	660,000	2,584,091	0	227,015
	B. 執行済額		1,278,515	660,000	2,581,380	0	226,814
	うち交付金充当額		1,022,812	528,000	2,065,103	0	181,451
	C. 次年度繰越額		660,000	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		65.9%	100.0%	99.9%	#DIV/0!	99.9%
予算の状況の説明		・南大東島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルを整備するため、令和4年度は調査・設計並びに支援業務の委託料及び事務費を計上した。 ・執行率は99.9%であり、計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び 進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	南大東島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルの整備に向けた調査設計:一部完了(R4出来高40%)		目標	-	-	-	調査設計の着手 (R4出来高40%)
		実績	-	-	-	調査設計の着手 (R4出来高46%)	
進捗状況説明		・令和4年度は、企画提案方式によって西日本電信電話株式会社沖縄支店を本事業の事業者として選定の上、同事業者において海底光ケーブル敷設に係る調査設計に着手した。(R4出来高46%)					
成果目標 (指標) 及び 達成状況	R4成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (R7・R8年度)
	南大東島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルの整備に向けた調査設計の進捗率:一部完了(R4出来高40%)		目標	-	-	-	調査設計40%
			実績	-	-	-	調査設計46%
	【R8成果目標】超高速ブロードバンドサービス基盤整備率		目標	-	-	-	100%
	【R7成果目標】南北大東島における海底光ケーブルの障害発生による通信切断回数		目標	-	-	-	0回
達成状況説明		令和4年度の海底光ケーブル整備工事の調査設計の進捗率は、目標値40%に対して実績46%となり、目標値を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>大東地区は、沖縄本島と南大東島間、沖縄本島と北大東島間で海底ケーブルの整備が完了したものの、海底光ケーブルがループ化(2ルート化)されておらず、沖縄本島から両島への海底光ケーブルに障害が生じた場合、各種サービス(行政、通信・放送等)に多大な影響を与える。よって、強靱化の取組として、災害や障害に強い安定的な情報通信基盤の構築に向け、ループ化(2ルート化)を行う必要がある。</p>	<p>大東地区において、高度な情報通信技術の活用環境の形成(ループ化)を図るため、南大東島と北大東島を結ぶ高速大容量の中継伝送路(海底光ケーブル)を整備する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>大東地区において、高度な情報通信技術の活用環境の形成(ループ化)を図るため、南大東島と北大東島を結ぶ高速大容量の中継伝送路(海底光ケーブル)を整備する。令和5年度は陸上部整備工事に着手し、令和7年度の整備完了を目指す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
226,814	226,814	181,451	45,363	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○調査設計の委託事業者は、企画提案公募型プロポーザルを実施(R4実施)した上で選定していることから、妥当であった。</p> <p>○支援業務の委託事業者は、一般競争入札で選定しており、妥当であった。</p> <p>○費目・使途については、業務報告書及び工事報告書等を検査し、適正である事を確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

<p>事業番号 ・事業名</p>	<p>4</p>	<p>シームレスな陸上交通体系構築事業</p>	<p>新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所</p>	<p>第4章-3-(12)-エ-①</p>																																																																			
<p>担当部署名</p>	<p>企画部 交通政策課</p>	<p>事業実施 (予定)年度</p>	<p>H24 ~ R13 年度</p>	<p>沖縄振興基本方針 該当箇所</p>	<p>シームレスな乗り継ぎ環境の構築 Ⅲ-11</p>																																																																		
<p>事業内容</p>	<p>慢性的な交通渋滞の緩和などに向けて、自家用車から公共交通への利用転換を促進させるため、以下の取組を実施する。 ①【基幹バスシステム構築に向けた調査検討】普天間～山里間のバスレーン延長の実施に向けた県民の合意形成、関係機関との協議を実施する。 ②【公共交通利用促進に向けた調査検討】路線新設に向けた調査を実施する。 ③【ノンステップバス導入補助】バス事業者が乗降性に優れたノンステップバスを導入する際の購入費を補助する。 ④【乗継環境の整備補助】乗り換えに利用されるバス停における上屋やサイネージ設置の計画作成を行う。 ⑤【公共交通利用促進に関する広報活動】ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施。 ⑥【交通コストの負担軽減】バス・モノレール等、公共交通間の乗継後初乗り料金無料化の計画作成。</p>																																																																						
<p>効果発現年度</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)</p>																																																																						
<p>実施方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()</p>																																																																						
<p>予算額・ 執行額 【単位:千円】</p>	<p>予算の 状況</p>	<p>R2年度</p>	<p>R2年度(繰越)</p>	<p>R3年度</p>	<p>R3年度(繰越)</p>	<p>R4年度</p>																																																																	
	(a)当初予算額	127,933		91,859		140,886																																																																	
	(b)予算現額	107,782		91,859		140,886																																																																	
	(c)増減額(b-a)	▲ 20,151	0	0	0	0																																																																	
	(d)前年度繰越額	0		0		0																																																																	
	A. 計(b+d)	107,782	0	91,859	0	140,886																																																																	
	B. 執行済額	107,595		91,570		140,523																																																																	
	うち交付金充当額	86,076		73,256		112,419																																																																	
	C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0																																																																	
	執行率(%) (B/A)	99.8%	#DIV/0!	99.7%	#DIV/0!	99.7%																																																																	
	予算の状況の説明	<p>・令和4年度の当初予算は令和3年度に比べ49,027千円の増額となっており、「ノンステップバス導入補助」台数の増、「乗継環境の整備補助」及び「交通コスト負担軽減」に向けた委託費が増加したことによるものである。 ・執行率は99.7%であり、概ね計画的に執行できた。</p>																																																																					
<p>活動目標 (指 標) 進捗状況</p>	<p>R4活動目標(指標)</p>	<p>進捗状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①【基幹バスシステム構築に向けた調査検討】 普天間～山里間のバスレーン延長の実施に向けた建機機関との協議等を実施する。</td> <td>目標 ・県民アンケートの実施 ・関係機関との協議等の実施</td> <td>新規バスレーン導入に向けた方針決定</td> <td>アンケート調査の実施</td> <td>普天間～山里間のバスレーン延長に関するWT開催 2回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 実施済</td> <td>協議会において方針議論</td> <td>実施済</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>②【公共交通利用促進に向けた調査検討】 路線新設に向けた調査を実施する。</td> <td>目標 ・新規ダイヤ、新規路線(既存路線の増m便や時間修正を含む)の設定に向けた調査検討</td> <td>実証実験の実施と効果検証</td> <td>実証実験の実施と効果検証</td> <td>各種実証実験 2件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 実施済</td> <td>実施済</td> <td>実施済</td> <td>新規路線の実証実験に向けた調査検討(3ルート案)を実施</td> </tr> <tr> <td>③【ノンステップバス導入補助】 バス事業者が乗降性に優れたノンステップバスを導入する際の購入費を補助する。</td> <td>目標 4台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 3台</td> <td>-</td> <td>1台</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>④【乗継環境の整備補助】 乗り換えに利用されるバス停における上屋やサイネージ設置の計画作成を行う。</td> <td>目標 -</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>デジタルサイネージ設置に関するWG開催 3回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 -</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>上屋及びデジタルサイネージ設置に向けた調査検討を実施</td> </tr> <tr> <td>⑤【公共交通利用促進に関する広報活動】 ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施する。</td> <td>目標 ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施</td> <td>ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施</td> <td>ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施</td> <td>ラジオCM245本、新聞広告2回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 実施済</td> <td>実施済</td> <td>実施済</td> <td>実施済</td> </tr> <tr> <td>⑥【交通コストの負担軽減】 バス、モノレール等、公共交通間の乗継後初乗り料金無料化の計画作成を行う。</td> <td>目標 -</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>公共交通間の乗継後初乗り料金無料化に関するWT開催 2回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績 -</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>乗継割引等に関する調査検討を実施</td> </tr> </tbody> </table>						R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	①【基幹バスシステム構築に向けた調査検討】 普天間～山里間のバスレーン延長の実施に向けた建機機関との協議等を実施する。	目標 ・県民アンケートの実施 ・関係機関との協議等の実施	新規バスレーン導入に向けた方針決定	アンケート調査の実施	普天間～山里間のバスレーン延長に関するWT開催 2回		実績 実施済	協議会において方針議論	実施済	実施済	②【公共交通利用促進に向けた調査検討】 路線新設に向けた調査を実施する。	目標 ・新規ダイヤ、新規路線(既存路線の増m便や時間修正を含む)の設定に向けた調査検討	実証実験の実施と効果検証	実証実験の実施と効果検証	各種実証実験 2件		実績 実施済	実施済	実施済	新規路線の実証実験に向けた調査検討(3ルート案)を実施	③【ノンステップバス導入補助】 バス事業者が乗降性に優れたノンステップバスを導入する際の購入費を補助する。	目標 4台	1台	1台	4台		実績 3台	-	1台	4台	④【乗継環境の整備補助】 乗り換えに利用されるバス停における上屋やサイネージ設置の計画作成を行う。	目標 -	-	-	デジタルサイネージ設置に関するWG開催 3回		実績 -	-	-	上屋及びデジタルサイネージ設置に向けた調査検討を実施	⑤【公共交通利用促進に関する広報活動】 ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施する。	目標 ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	ラジオCM245本、新聞広告2回		実績 実施済	実施済	実施済	実施済	⑥【交通コストの負担軽減】 バス、モノレール等、公共交通間の乗継後初乗り料金無料化の計画作成を行う。	目標 -	-	-	公共交通間の乗継後初乗り料金無料化に関するWT開催 2回		実績 -	-	-	乗継割引等に関する調査検討を実施
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																			
①【基幹バスシステム構築に向けた調査検討】 普天間～山里間のバスレーン延長の実施に向けた建機機関との協議等を実施する。	目標 ・県民アンケートの実施 ・関係機関との協議等の実施	新規バスレーン導入に向けた方針決定	アンケート調査の実施	普天間～山里間のバスレーン延長に関するWT開催 2回																																																																			
	実績 実施済	協議会において方針議論	実施済	実施済																																																																			
②【公共交通利用促進に向けた調査検討】 路線新設に向けた調査を実施する。	目標 ・新規ダイヤ、新規路線(既存路線の増m便や時間修正を含む)の設定に向けた調査検討	実証実験の実施と効果検証	実証実験の実施と効果検証	各種実証実験 2件																																																																			
	実績 実施済	実施済	実施済	新規路線の実証実験に向けた調査検討(3ルート案)を実施																																																																			
③【ノンステップバス導入補助】 バス事業者が乗降性に優れたノンステップバスを導入する際の購入費を補助する。	目標 4台	1台	1台	4台																																																																			
	実績 3台	-	1台	4台																																																																			
④【乗継環境の整備補助】 乗り換えに利用されるバス停における上屋やサイネージ設置の計画作成を行う。	目標 -	-	-	デジタルサイネージ設置に関するWG開催 3回																																																																			
	実績 -	-	-	上屋及びデジタルサイネージ設置に向けた調査検討を実施																																																																			
⑤【公共交通利用促進に関する広報活動】 ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施する。	目標 ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	ラジオCM245本、新聞広告2回																																																																			
	実績 実施済	実施済	実施済	実施済																																																																			
⑥【交通コストの負担軽減】 バス、モノレール等、公共交通間の乗継後初乗り料金無料化の計画作成を行う。	目標 -	-	-	公共交通間の乗継後初乗り料金無料化に関するWT開催 2回																																																																			
	実績 -	-	-	乗継割引等に関する調査検討を実施																																																																			
	進捗状況説明	<p>①基幹バスシステム構築に向けた調査検討においては、バスレーン延長に向けた関係者との会議(2回)を実施した。 ②公共交通利用促進に向けた調査検討においては、大学関係者との意見交換も踏まえ、新規路線の実証実験に向けた調査検討(3ルート案)を実施した。 ③ノンステップバス導入補助については、バス事業者に対して4台の導入支援を実施した。 ④乗継環境の整備補助については、上屋、デジタルサイネージ設置に向けた調査検討を実施したが、予算確保が厳しかったため、WGの中での議論を見送った。 ⑤公共交通利用促進に関する広報活動については、ラジオCM246本、新聞広告4回を実施した。 ⑥交通コストの負担軽減については、乗継割引等にかかる調査検討を実施したが、必要なデータの取得に時間を要したため、WTの中で議論することはできなかった。</p>																																																																					

成果目標（指標） 及び 達成状況	R4成果目標（指標）	基準値 （〇〇年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 （〇〇年度）	
			目標	実績	実績	実績	実績
達成状況説明	①【基幹バスシステム構築に向けた調査検討】 バス移動時間（運行時間）の短縮目標設定 1区 間（普天間～山里間）	目標	時間設定	34.8%以上	1区間	—	
		実績	—	時短効果 上り:2分 下り:4分	23.60%	1区間	—
	②【公共交通利用促進に向けた調査検討】 新規路線案の提示件数 2件	目標	—	1件	1件	2件	—
		実績	—	1件	1件	0件	—
	③【ノンステップバス導入補助】 ノンステップバスの導入割合 0.5ポイント以上増	目標	—	49%	45.8%	0.5ポイント以上増	—
		実績	—	47.1%	26.4%	2.8ポイント増	—
	④【乗継環境の整備補助】 設置計画の作成 1件	目標	—	—	—	1件	—
		実績	—	—	—	1件	—
	⑤【公共交通利用促進に関する広報活動】 広報用HP等のアクセス数 100,000PV	目標	—	40%以上	48.8%以上	100,000PV	—
		実績	—	42.8%	46.2%	95,180PV	—
	⑥【交通コストの負担軽減】 乗継無料化実施計画の作成	目標	—	—	—	1件	—
		実績	—	—	—	0件	—
<p>①バスレーン導入時の移動時間（運行時間）の短縮効果として、伊佐一山里（普天間～山里間含む）の時短効果を確認した。</p> <p>②公共交通利用促進に向け、新規路線の実証実験に向けた調査検討（3ルート案）を実施したが、自走化を見据えた収支状況が確認できなかつたことから、提示することは見送った。</p> <p>③ノンステップバスの導入割合は2.8ポイントと大きく増加しており、本事業のみの効果ではないと考えるが、本事業が一定程度の影響を与えていると考えている。</p> <p>④基幹バス導入予定区間のバス停上屋の設置状況を調査し、未設置箇所における設置可能性について確認した。</p> <p>⑤広報用HP等へのアクセス数については、目標値の95%にとどまったが、ほぼ目標値は達成したと考える。</p> <p>⑥乗継無料化実施計画の作成はできなかったものの、乗継利用の現状を踏まえ、乗継割引料金のケースを設定し、ケース毎のシミュレーションを実施した。また、オフピーク定期券の可能性についても検討した。</p>							

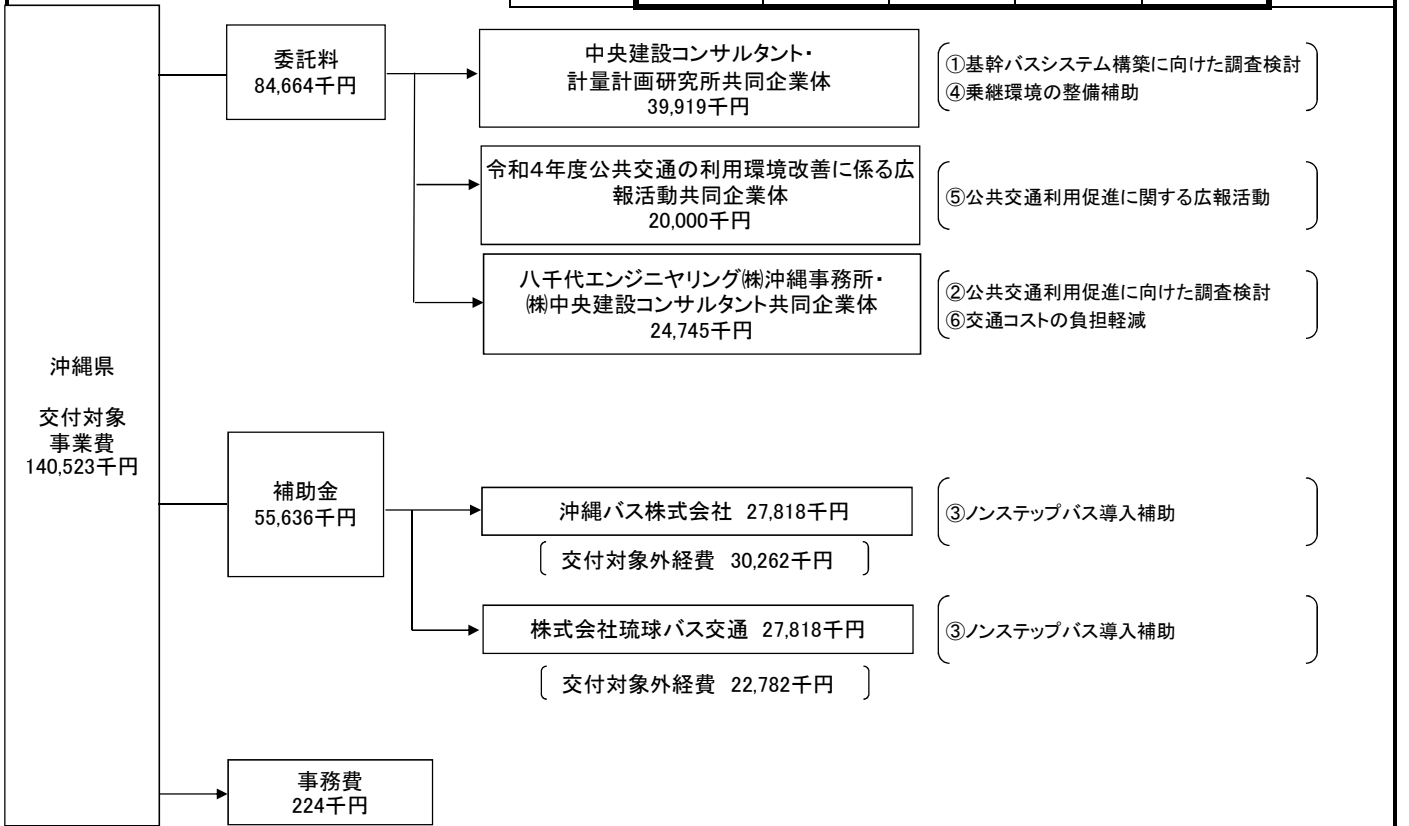
R4-No.4

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
		<p>①②バスレーン延長区間において、交通環境の変化に伴う渋滞等の発生が想定されており、当該変化も考慮したバスレーン導入時の交通対策等が求められるとともに、影響緩和のため大学周辺を含めた新たなバス路線の開設が求められる。</p> <p>③バス事業者においては、運転手不足等を背景にバス車両のダウンサイジングを検討しており、事業者ニーズも踏まえた事業を展開する必要がある。</p> <p>④バス停上屋未設置箇所の中には、歩道幅員が狭小な箇所が多く、道路構造上、設置が厳しい箇所が存在する。</p> <p>⑤広報事業については、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いてきていることから、対面式のイベント開催の機運が高まっており、実施を検討していく必要がある。</p> <p>⑥乗継については、バス間のみならず、バスとモノレール間の乗換も想定されることから、バス間の乗継のみならず、乗換割引の負担方法についての検討が必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>①②関係市町村や大学等との協力体制を構築し、バスレーン延長区間における交通環境の変化に対応した取り組みを促進するとともに、新たなバス路線の開設に向けた取り組みを実施する。</p> <p>③ノンステップバス導入後の運用面について、引き続き、バス事業者等とサービス活性化に向けた意見交換を行い、現状や課題等の共通認識を図り、更なるサービスの改善に繋げる。</p> <p>④基幹バス導入予定区間へのバス停上屋の設置に向けた検討、ランニングコストも考慮したデジタルサイネージの整備に向けた検討を行う。</p> <p>⑤車利用者、企業（ビジネスパーソン）、高齢者、子供など、対象者に応じた広報、イベント及びモビリティ・マネジメントを実施し、更なる公共交通の利用を呼びかける。</p> <p>⑥乗継割引の導入に向けては、事業者との合意形成が重要であることから、さらに精度の高いデータを用いた検討を行う。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
193,568	140,524	112,419	28,105	0	0	53,044



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業務は、公募型プロポーザル方式により、企業規模、実績、知識等を助案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目や用途については、事業目的の観点から必要な物であるか、完了検査、額の確定時において、支出等に関する証拠類を確認し、適正であった。 ・受益者負担を求めつつ、県が一定の補助を行うことで財政的に厳しい民間路線バス運行事業者の負担軽減を図っており、負担関係は妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	